

平成35年度までの 財政収支見込みについて

本市では、新年度予算(案)をお知らせするこの時期に合わせ、向こう10年間に渡る各年度の収入および支出の見込みを立て、「長期財政収支見込み」として作成、公表しています。

今回、平成35年度までの長期財政収支見込みを作成しましたので、その概要をお知らせします。(※詳細は、市ホームページをご覧ください。)

●消費税の引き上げに伴う影響

以下の表は、平成27年度から35年度までの毎年の「収入」「支出」および「歳入歳出差引」を示したものです。

平成26年度からの消費税および地方消費税の増税により、市の収入が大幅に増加するため、平成27年度から35年度までの全体の収支は、増税がない場合では45億円の収支不足となること、37億円の黒字と見込んでいます。

今回増税される消費税は、今後増加する社会保障関係経費の財源となるものですが、社会保障関係経費の伸びに比べて、収入増が先行するためこのような状況になるものです。

【収支の見込み】 (単位：億円)

年度	歳入	歳出	歳入歳出差引
27	302	275	27(△23)
28	277	299	△22(△27)
29	309	267	42(△30)
30	269	269	0(△11)
31	266	265	1(△10)
32	260	269	△9(△18)
33	258	259	△1(△11)
34	260	263	△3(△12)
35	261	260	1(△9)
合計	—	—	37(△45)

※歳入歳出差引欄の「△」は消費税増税を考慮しない歳入歳出差引
※端数処理のため合計が一致しないことがあります。

●これからの財政運営

収支については、上記のとおり当面は改善する見込みとなっていますが、以下の点については十分に注意して財政運営を行います。

- ◆少子高齢化の影響により、将来的には社会保障関係経費は消費税による増収分以上に増加するものと見込んでいます。一時的に収支が改善するのを見えますが、徐々に厳しい収支となることが予想されることから、将来の社会保障関係経費の増加に備えた財政運営に努めます。
- ◆今回の長期収支見込みでは、土地開発公社の解散や市営住宅の集約建て替えに伴い清算できる土地の売却収入を多く見込んでいます。しかし、このような収入は一時的であることから、経常的な支出を増やさぬよう現在行っている事務や事業は常に見直しを行い、より簡素で効率的な行政運営が行えるように、さらなる行政改革を進めていきます。
- ◆地方債の償還については、平成25年度より26年度に繰上げ償還を積極的に行い、以後の償還額を減らすことができる見込みですが、震災による借入がまだ多く残っていることや、市営住宅大規模集約化事業などの新たな地方債の負担から、震災前と比べると依然として高い水準となっており、引き続き地方債残高の縮小に努めます。
- ◆長期財政収支見込みでは、当面予想される事業について考慮していますが、老朽化した施設の更新や、その他現段階では事業費およびその財源が流動的な事業などは反映できていません。新しい事業を行う場合は、必要となる経費の財源が確保できるかどうかなどを慎重に検討していきます。

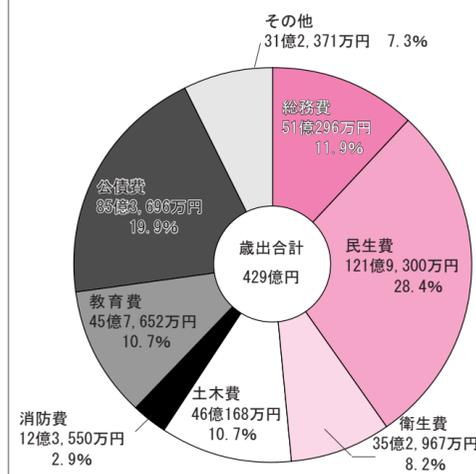
平成26年度 予算(案)

区分	予算額	増減率(%)
一般会計	429億 円	△11.1
特別会計	232億6,900万円	△16.9
国民健康保険事業	97億6,700万円	2.1
下水道事業	26億5,000万円	△4.0
公共用地取得費	4億8,300万円	△91.9
都市再開発事業	1,880万円	△10.5
駐車場事業	3億1,120万円	△8.0
介護保険事業	79億6,100万円	8.7
宅地造成事業	2億1,200万円	△36.0
後期高齢者医療事業	18億6,600万円	12.1
企業会計	109億 489万円	32.4
病院事業	65億9,950万円	30.9
上水道事業	43億 538万円	34.8
財産区会計	1,190万円	△88.3
合計	770億8,579万円	△8.9

平成26年度の主な新規・拡充事業など

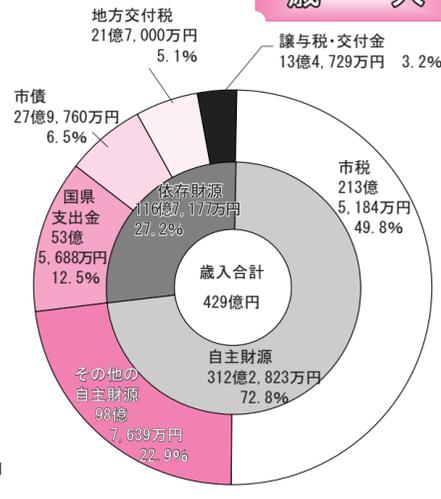
【健康・福祉】	
臨時福祉給付金支給事業	2億4,496万円
子育て世帯臨時特例給付金給付事業	1億 513万円
和風園改修工事	4,782万円
阪急芦屋川駅スロープ新設事業補助	1,620万円
あしやウォーキングマップ更新	558万円
【教育】	
潮見中学校施設整備事業	4億7,010万円
宮川幼稚園大規模改修事業	2億 20万円
岩園小学校・幼稚園施設整備事業	7,240万円
小中学校タブレットPC導入事業	3,000万円
図書館返却ポスト設置	143万円
【都市】	
開森橋架替工事	1億 500万円
道路ストック総点検事業	8,000万円
国道43号精道交差点歩道橋	7,047万円
北側エレベータ設置	
市営住宅大規模集約化事業設計業務	5,000万円
潮見地区集会所の大規模修繕	2,768万円
公益灯LED化工事	2,014万円
無電柱化概略設計	616万円
防災ボックス設置事業	598万円
景観行政団体関係経費	503万円
合同防災訓練	250万円
交通安全施設整備事業	1億5,481万円
【その他】	
市役所本庁舎東館新設工事	10億8,250万円
震災20周年事業	778万円
指定管理者の外部評価関連経費	132万円

歳出



- 【総務費】 市役所全体の事務費や税金の徴収、戸籍および住民票、選挙等に要する経費で、土地開発公社の解散に伴う経費等の減少のため、54.3%、約60億6,527万円の減少となります。
- 【民生費】 福祉等に要する経費です。臨時福祉給付金支給事業に要する経費および生活保護費等の増加のため、6.3%、約7億2,693万円の増加となります。
- 【衛生費】 保健やごみ処理などに要する経費です。市立芦屋病院への助成等の減少のため、16.8%、約7億1,482万円の減少となります。
- 【土木費】 道路や都市計画、公営住宅などに要する経費です。市営翠ヶ丘町北住宅およびテラス住宅の建替経費等の減少のため、17.0%、約9億4,332万円の減少となります。
- 【消防費】 消防、救急や災害対策に要する経費

歳入



- 【市税】 市の歳入で最も多く、全体の49.8%を占めています。前年度との比較
- 【譲与税・交付金】 自動車重量税や地方消費税交付
- 【国県支出金】 国や県から交付される補助金や負担金をいいます。臨時福祉給付金の増加等のため、1.4%、723万9千円の増加となります。
- 【市債】 市債借入金の元金や利子の支払いに要する経費です。市債の償還元金の減少等により、6.8%、約6億2,692万円の減少となります。
- 【公債費】 上記以外の経費で、議会費や商工費などが含まれます。公共事業用地取得費等の増加により14.4.8%、約18億4,785万円の増加となります。
- 【教育費】 学校や幼稚園その他社会教育に要する経費です。潮見中学校施設整備事業費等の増加のため、9.9%、4億1,224万円の増加となります。
- 【その他】

市民1人当たりに使われるお金は443,109円

総務費	民生費	衛生費
52,708円(11.9%)	125,940円(28.4%)	36,458円(8.2%)
土木費	消防費	教育費
47,530円(10.7%)	12,762円(2.9%)	47,270円(10.7%)
公債費	その他	合計
88,177円(19.9%)	32,264円(7.3%)	443,109円(100.0%)

※1月1日現在の住民基本台帳人口96,816人で試算しました

予算を家計にたとえると...

平成26年度予算を家計にたとえました

収入については給与収入等の自主財源の割合が多いのが特徴です。支出の減少のため預貯金の引き出しが減っています。支出については、土地開発公社の解散経費がなくなったため、子どもへの仕送りが激減しています。また、家の増改築や電気製品の購入が増加しています。

■歳入		家計に置き換えた場合の年間収入(円)	
一般会計予算額	(千円)	給料収入	2,135,183
市	21,351,834	資産運用や預貯金の引き出しなどの雑収入	987,639
税	9,876,393	親などからの援助	887,418
財産収入、使用料・手数料収入など	8,874,173	借入金	279,760
国・県支出金、地方交付税、地方譲与税など	2,797,600	収入の合計	4,290,000
市債	42,900,000		
歳入の合計			

■歳出

一般会計予算額		(千円)	
義務的経費	人件費	7,649,342	
	扶助費	5,760,409	
	公債費	8,326,959	
	物件費	6,760,212	
	維持補修費	7,079,736	
	普通建設事業費	3,881,154	
	繰出金	3,107,944	
	補助費等	294,244	
	積立金	40,000	
	予備費	42,900,000	
	歳出の合計		

家計に置き換えた場合の年間支出(円)	
食費	764,934
医療費など	576,041
ローンの返済	832,696
光熱費や日用品など	676,021
家の増改築や電気製品の購入など	707,974
子どもへの仕送り	388,115
町内会費・知人への援助など	310,795
貯金	29,424
不意の出来事への備え	4,000
支出の合計	4,290,000

- 【市債】 借入金です。市営翠ヶ丘町北住宅およびテラス住宅の建替事業のための借り入れの減少等のため、16.6%、5億5,740万円の減少となります。
- 【その他の自主財源】 上記以外の収入で、寄附金や手数料収入などです。基金の取りくずし額の減少等のため、36.3%、約56億2,500万円の減少となります。

平成26年度予算(案)概要

問い合わせ 財政課 ☎38-2011

2月18日開会の市議会に提案しました「平成26年度予算(案)」の概要をお知らせします。

市の予算は、一般会計・特別会計・企業会計・財産区会計の4種類の会計で構成されており、平成26年度の予算総額は770億8,579万円となります。今回はその中でも、ごみ処理、住宅や道路・公園の整備、教育、福祉といった市民の皆さんの日常生活に関わる一般会計の予算(案)についてご説明します。



一般会計の予算額は、429億円で、前年度に比べて53億8千万円、11.1%の減少となっています。前年度に引き続き「健康」「福祉」および「教育」に重点を置き、既存の事務事業に必要な予算を措置するとともに、グループ型家庭の保育事業、小学校の遊具更新、学校の防犯カメラ設置、小中学校への学習用タブレットPC導入、妊婦がんだなどの各種健診、風疹等のワクチン接種、あしやウォーキングマップの全戸配布等を実施します。

施設整備等では、潮見中学校給食施設建設、打出浜小学校大規模改修、宮川幼稚園改修、開森橋の架け替え、市役所本庁舎東館建設、市道の冠水表示板設置および安全対策、国道43号精道交差点歩道橋のエレベータ設置、阪急芦屋川駅スロープ設置を実施するほか、芦屋川沿いの無電柱化に向けた検討を行います。

また、本市が景観行政団体となること、阪神淡路大震災から20年の節目を迎える年度となることから、景観フォーラム、防災シンポジウム、追悼式典などを実施します。

歳入・歳出、それぞれの代表的な予算については次のとおりとなります。

「健康」・「福祉」および「教育」に重点を置いた予算編成

3月後半 GATV 広報番組ガイド

芦屋市広報番組 あしやトライあぐる

放送時間(15分)
① 9:00
② 12:00
③ 15:00
④ 18:00
⑤ 22:30

オープニング さくら参道

トピックス 植樹祭

特集 こどもファーストのまちを目指して
～子ども・子育て支援新制度への取り組み～

お知らせ 年度末・年度始めの
市役所本庁舎の一部開庁 ※DVDの貸出可

エンディング 芦屋散歩

■広報番組「あしやトライあぐる」は、11ch(一部地域を除く)でご覧ください。
■番組に関する問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2006 ■CATV全般に関する問い合わせ J-COM神戸芦屋 カスタマーセンター ☎0120-999-000

芦屋シティグラフ

市では、「芦屋シティグラフ」(A4判・52ページ/全カラー印刷)を発行・発売しています。芦屋の自然や史跡・名所、市内の施設をはじめ、芦屋のまちの楽しみ方をたくさん紹介しています。若い世代の皆さんにも楽しんでいただけるような情報もいっぱい。眺めるだけでも楽しい1冊です。後半には、行政の動きや統計などの情報も掲載しています。ぜひ、一度手に取ってご覧ください。

■販売場所 市役所行政情報コーナー
ラポルテ市民サービスコーナー

■定価 300円

問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2006

予算を家計にたとえると...

平成26年度予算を家計にたとえました

収入については給与収入等の自主財源の割合が多いのが特徴です。支出の減少のため預貯金の引き出しが減っています。支出については、土地開発公社の解散経費がなくなったため、子どもへの仕送りが激減しています。また、家の増改築や電気製品の購入が増加しています。

■歳入

一般会計予算額	(千円)	家計に置き換えた場合の年間収入(円)	
市	21,351,834	給料収入	2,135,183
税	9,876,393	資産運用や預貯金の引き出しなどの雑収入	987,639
財産収入、使用料・手数料収入など	8,874,173	親などからの援助	887,418
国・県支出金、地方交付税、地方譲与税など	2,797,600	借入金	279,760
市債	42,900,000	収入の合計	4,290,000
歳入の合計			

■歳出

一般会計予算額	(千円)	家計に置き換えた場合の年間支出(円)
義務的経費	人件費	7,649,342
	扶助費	5,760,409
	公債費	8,326,959
	物件費	6,760,212
	維持補修費	7,079,736
	普通建設事業費	3,881,154
	繰出金	3,107,944
	補助費等	294,244
	積立金	40,000
	予備費	42,900,000
	歳出の合計	

家計に置き換えた場合の年間支出(円)

食費	764,934
医療費など	576,041
ローンの返済	832,696
光熱費や日用品など	676,021
家の増改築や電気製品の購入など	707,974
子どもへの仕送り	388,115
町内会費・知人への援助など	310,795
貯金	29,424
不意の出来事への備え	4,000
支出の合計	4,290,000

【市債】 借入金です。市営翠ヶ丘町北住宅およびテラス住宅の建替事業のための借り入れの減少等のため、16.6%、5億5,740万円の減少となります。

【その他の自主財源】 上記以外の収入で、寄附金や手数料収入などです。基金の取りくずし額の減少等のため、36.3%、約56億2,500万円の減少となります。